

△業界情報▽

太平洋クラブ、スポンサー選考1次通過は3社と発表

いずれも優劣付けがたい状況とするも社名は発表せず

昨年1月23日に民事再生法の適用を申請するも、債権者の反対で会社更生手続きに移行した㈱太平洋クラブ(東京都港区)外5社の永沢徹管財人は、1月15日まで受け付けたスポンサー募集の1次入札の結果、3社に絞り込んだことを1月23日に同社HPで明らかにした。

発表によると、1次入札手續において多数の有力な候補の応募があり、そのうち3社を2次入札手續への参加者として選考したという。その3社の社名は明らかにしていないが、いずれも同社のスポンサーとなることに意欲的で、同社のスポンサーとしての資格を有する候補であると考えているとしており、提案内容についても現時点において優劣つけがたい状況と説明した。

今後は、今年4月30日のスポンサー基本契約締結を目指して、公正に2次入札手續を行っていくとしている。

本紙5480号の段階では、1次入札に10数社応募があったことを報じたが、不参加を表明したアコーディア以外の有力先として報道したマルハンやPGMは1次結果通知の1月18日以降に確認したため1次選考に残った模様だ。